

魅力ある会社づくり

経営者は語る

当社は家電や自動車製品、ペットボトルなどの廃プラスチックを再生材にする工程のうち、粉碎、洗浄、脱水、乾燥などの中間工程を担う機械の開発、設計、製造、販売を行っています。メーカー機能として粉砕機を中心とした装置を単体で販売するとともに、機械を複合的に並べて一つのリサイクルプラントとしてパッケージ化してお客さまにご提供しています。今は売り上げの7割近くがこのプラント機能になっています。

企業ブランド向上策として昨年、SDGs事業部を立ち上げました。当社の存在理念は「マシントテクノロジーで地球を豊かにする」で、啓蒙活動により人の意識を高めようとし、主に五つの施策を進めています。

一つはオープンファクトリーです。一般の方を工場に招いてプラスチックのキャップを目の前で粉砕して射出成形機でコマやカラビナ、プレスレットにアップサイクルする取り組みを行っています。

二つ目の教育機関との連携では、保育園や小学校、大学とペットボトルのキャップの回収ボ

日本シーム 社長 木口 達也氏



成長へ目標高く「100億宣言」

「100億宣言」によるブランド向上では、2月に経済産業省中小企業庁が募集するプロジェクトに参加し、中小企業成長加速化補助金も採択されました。

関係の質の向上として週1回、月曜日に全体朝礼を行っています。席はくじ引きで各テーブルに座ります。まず先週起こった楽しかったことを4人の席で1人1分計4分話し合う「ハッピーシェア」を行います。70人弱の会社ですが、部門間のセクショナリズムが芽生える恐れがあるので、さまざまな部署が不確定要素が集まって、良い状

SDGs事業で企業ブランド向上

・208・7700

管理職は語る

当社はさく井工事や井戸メンテナンス、地下水関連設備の工事などを手がけています。創業114年で社員数は約300名、事業所は仙台から沖縄まで全国各地に展開し、海外にはネパール現地法人も設立しています。当社の究極の目的は「社員とその家族の幸福」です。「ヒト・モノ・カネ」ではなく「ヒト・ヒト・ヒト」という考え方を経営の根幹に据えています。人を思いやり、人に寄り添い、人に優しく、人を敬い、人を大切にすることを目指し、「誰一人取り残さない」を実践しています。

建設業界は技能者不足が課題です。埼玉県でも技術者は増加傾向ですが技能者は今後減少すると予測されています。当社も10年後の現場人員確保に不安の声があり、建設業の枠を超えて「人の確保」以上に「人を大切にする」ことに注力しています。この背景には、過去の厳しい経営経験があります。

約30年前、当社は売上高239億円、社員5355名でしたが、公共事業への依存体質から業績が悪化し、2016年には「底」を経験しました。人員削減や事業所閉鎖を余儀なくされ、退職者が相次ぎました。その反省から人を大切にすることを社「へ転換しました。「ヒト・ヒト・ヒト」という理念のもと、ヒトこそがモノやカネを生み価値を創造する存在であるという考え方を貫いています。

長い歴史で培った「決してあきらめない」DNAは当社の強みですが、過去にはトップダウンが行き過ぎ中堅や若手が主体的に動けない課題がありました。現在は社員の心理的安全性

日さく 総務部人事課長 杉山 りえか氏



「ヒト・ヒト・ヒト」の経営哲学

人財育成で未来を拓く

減や事業所閉鎖を余儀なくされ、退職者が相次ぎました。その反省から人を大切にすることを社「へ転換しました。「ヒト・ヒト・ヒト」という理念のもと、ヒトこそがモノやカネを生み価値を創造する存在であるという考え方を貫いています。

長い歴史で培った「決してあきらめない」DNAは当社の強みですが、過去にはトップダウンが行き過ぎ中堅や若手が主体的に動けない課題がありました。現在は社員の心理的安全性

り組んでいます。

シルバー人材の活躍にも力を入れ、65歳以上の社員が25人入籍しています。定年は70歳に延長しており、人生100年時代に対応しています。高齢社員の健康管理のため「高齢者体力測定マニュアル」を策定し、安全に働ける環境づくりを進めています。

女性社員は92人、うち女性技術者は18人在籍しています。特に大宮事務所の地質調査部では29人中14人が女性で、うち12人が技術者です。女性技術者や事務職の意見交換会を定期開催し、女性が活躍できる会社づくりを推進しています。外国人社員も増加しており、現在は技人国粋社員10人、技能実習生9人が在籍しています。インドネシア人技術者がベトナムの国際大会で最優秀口頭発表賞を受賞するなど、国際的な成果も生まれています。

毎年実施している社内満足度アンケートでは、「当社で働いていてやりがいを感じる」と回答した社員が79.5%にのぼりました。顧客からも「長年の信頼」や「真面目で誠実な社員」が高く評価されており、「お客さまの困り事は自分たちの困り事」と捉える企業文化が根付いています。

最後に、当社が何よりも大切にしているのは社員とその家族の幸福です。社員が幸福でなければ、お客さまに安心や満足を提供することはできません。社員が幸福であることは、会社にとって大きな喜びであり、社会にお客さまに届ける源です。社員をお客さまに届ける源です。社員をお客さまに届ける源です。

- 企業データ
- ①設立年
- ②資本金
- ③職種・事業内容
- ④本社所在地
- ⑤電話

防災工事・調査
特殊土木工事・地質調査

水道インフラ
さく井工事

防災井戸
井戸用設備製造・販売

国際支援
海外事業

社会資本の整備
地質調査・建設コンサルタント

安全な水供給
井戸メンテナンス

地中熱の利用
地下水関連設備工事

未来のインフラ
技術開発

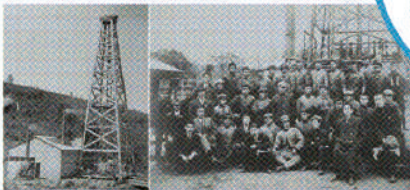
井戸掘削・地質調査・防災工事のプロフェッショナル
「ヒトからヒトへ、すべてのヒトのために」
選ばれて114年、私たちは地域・社会のために貢献し続けます。

創業明治45年
株式会社 日さく
WATER&GEO-TECH ENGINEERS, NISSAKU

本社／〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町四丁目199番地3
TEL：048-644-3911 FAX：048-644-3958



明治45年の創立以来
地下水と地盤に想いをこめて、
社会課題の解決に
取り組んでいきます。



水とともに
歩み続ける。
日さくの技術



県内中小企業の持続成長への道

第47回埼玉県産業振興懇談会

日さく 菊池賢一 執行役員東日本支社副支社長
女性が活躍し続けるためには、女性をはじめ誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組むことが重要ですが、こうした働き方改革に取り組む企業に対し、県はどのように支援していますか。



雇用・人材戦略課長 関根 昌浩氏

県は2024年度から埼玉PX大賞を創設するなど、男性の育休取得



日さく 執行役員東日本支社副支社長 菊池 賢一氏

働き方改革に取り組む企業への支援

課題解決のノウハウ提供 アドバイザー派遣 無料で支援

男性の育休取得 優良企業を表彰

得に注力しています。県内企業の男性の育休取得推進に向けた取り組みを教えてください。

関根課長 県は25年度も男性の育児と仕事の両立を支援し、男性の育休取得に積極的に取り組む中小企業を、埼玉PX大賞として表彰します。受賞企業の優良事例をロールモデルとして、県ホームページなどで広く発信することで県内企業への取り組みの波及と男性の育休取得の機運醸成を図っていく考えです。

女性の就業支援 ワンストップサイト運営



就業支援課長 伊藤 佳子氏

などにより、女性の就業支援を行っています。



埼玉産業人クラブは10月9日に「第47回埼玉県産業振興懇談会」を開き、企業経営者らと埼玉県幹部が意見交換した。「魅力ある会社づくり」をテーマに、経営者からは女性活躍やサーキュラーエコノミー(循環経済)、人材育成、人手不足への対応策などの意見・質問が相次いだ。これに対して埼玉県は、支援策や複数の実績を紹介。埼玉県は今後も企業と連携し、さまざまな施策に取り組む姿勢を示した。

魅力ある会社づくりへ良い職場風土 重要



埼玉県産業労働部長 野尻 一敏氏

47回目の開催となった埼玉県産業振興懇談会は、経営者など4人が各社の取り組み人材育成や女性活躍推進の取り組みなどを講演。その後、埼玉県幹部らと意見交換をした。

野尻 一敏産業労働部長 は意見交換の冒頭あいさつで、魅力ある会社づくりに「それぞれの企業の組織に合った取り組みをしっかりと考えていく必要がある」と強調した。さらに「どんなに優れた社内制度を作っても、それを血の通ったモノにするには制度に見合った職場の風土を作り上げる」とが重要だと指摘した。だがそれは一朝一夕にできるものではないとした上で、「トップに立つ人の日々の過ごし方や社員と話す際の表情も含め、企業文化が作られる」と述べ、経営者自身の姿勢や日常のふるまいも、企業文化の形成につながるものと考えを示した。

パネルディスカッション参加者

- | | | |
|-------|------------------|--------|
| 【産業界】 | 日さく執行役員東日本支社副支社長 | 菊池 賢一氏 |
| | 日本シーム社長 | 木口 達也氏 |
| | 日東精密工業社長 | 近藤 敬太氏 |
| | 金杉建設社長 | 吉川 祐介氏 |
| 【埼玉県】 | 産業労働部長 | 野尻 一敏氏 |
| | 産業労働政策課長 | 内田 貴之氏 |
| | 産業支援課長 | 島田 徹氏 |
| | 産業創造課長 | 村井 秀成氏 |
| | 雇用・人材戦略課長 | 関根 昌浩氏 |
| | 就業支援課長 | 伊藤 佳子氏 |
| | 産業人材育成課長 | 下村 修氏 |
| | 産業技術総合センター長 | 新里 英男氏 |
| | 産業振興公社理事長 | 秋友 一広氏 |

アルミ加工

曲げ プレス 切削
端末加工 研磨 溶接

アルミ引抜

高精度 クラッド 異型

陽極酸化皮膜

硬質 超硬質 抗菌 潤滑

詳しくはコチラ

NISSIN

日本伸管株式会社

〒352-0005 埼玉県新座市中野 1-10-22 TEL 048-477-7331 FAX 048-477-7888

https://www.nihonshinkan.co.jp

・埼玉県指定 彩の国工場 精密板金加工 創業 60 年

有限会社 野火止製作所 NOBIDOME FACTORY

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

★優れた技術でお客様のニーズにお応えします。

★デジタル化 (DX) によるモノづくりで革新をもたらす。

高品質 対応力 満足感

★サイン・内装金物・高級金物什器・フレーム・筐体・精密部品・機械装置・他
★金属 (鉄、SUS、アルミ、銅、真鍮、他)・アクリル・その他樹脂・木
★一貫生産と現場施工で高品質を実現

感謝信頼経営・感動品質経営・人財尊重経営

本 社 〒352-0011 埼玉県新座市野火止 3-2-48
第二工場 〒352-0011 埼玉県新座市野火止 3-13-3
東京支店 〒171-0014 東京都豊島区池袋 2丁目57-2 VOICEビル2階
TEL048(481)2300 FAX048(481)2304
E-mail inf@nobidome.co.jp
http://www.nobidome.com

<設備関連>
・レーザー 2 台・バンダー 2 台・NC ルーター 1 台・溶接機 9 台
・チャンネルマスター 1 台・3D-CAD3 台・2D-CAD7 台
・その他設備多数